

NPO法人 e-HCIK
e-Health Care Innovation in Kagawa



HCIF第13回事例研究部会
2012年7月19日(木)

NPO法人 e-HCIK 設立趣旨



少子高齢化や医師不足、地域格差の拡大の中で、住民が均等に質の高い医療を享受するためには、医療ITを更に発展させていく必要がある。医療ITは、政府の新成長戦略において重要な課題とされているが、実際の運用となると、法令や通達等により制限が課されているため、地域のニーズとはかけ離れたものとなっている。このためITを用いた医療は法令や通達に先駆けてその効果検証を行い、地域のニーズ満たすものを構築する必要がある。

香川県は県全体で見れば、患者数に対する医療機関の数や医師の数は恵まれている。しかし、大部分の医療機関は高松市など県の中心部に集中しているため、瀬戸内海の離島や山間部の患者は依然として十分な医療を受けにくい状況にある。また、昨今の医師不足により、離島や山間部の診療所への医師派遣の減少等が進んでおり、中心部と離島・山間部における医療格差は拡大している。現在、離島や山間部の多くの患者は、当地の診療所で治療が困難な場合、高松市などの中核病院に通院することになるが、その場合の身体的、経済的負担は大変に大きい。

そのため香川県では、離島や山間部における医療格差の是正等に向け、平成10年から地域医療ネットワークの構築に取り組んでおり、ITを用いた「かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)」を香川県の産学官が一体となって構築してきた。現在、K-MIXには、県内外を含め100以上の医療機関が参画し、患者紹介、遠隔画像診断支援、脳卒中地域連携クリティカルパス等の運用を行い、成果を上げている。

このように、香川県には、医療ITのインフラが既に構築されており、また、産学官によるネットワークも存在する。さらに、これまでの10年以上の運用実績から、人材やノウハウ等の蓄積も優れている。

そこで、医療ITのシステム及びインフラを統合的に構築し、県民に遠隔医療やEHR/PHRを提供するためのビジネスモデルを考案し、それに沿った運用規定の策定を行うことによって実運用へと導くことを目的とし、新たな保健医療福祉社会を目指し医療ITによる基盤構築を目的とした特定非営利活動法人e-Health Care Innovation in Kagawa (eHCIK)を設立した。

NPO法人 e-HCIK



設立年月日	平成23年12月27日
特定非営利活動法人の名称	e-Health Care Innovation in Kagawa
代表者の氏名	原 量宏
主たる事務所の所在地	高松市林町2217番地16 FROM香川2C
目的	この法人は、医療・保健などで情報ネットワークに関与する者、ネットワークなどの情報を通して社会に貢献する者に対して、IT・ネットワークなどの構築、運用、研修の支援、地域医療や遠隔医療の情報化への支援などに関する事業を行い、情報ネットワークを通して保健・医療、福祉の増進、社会教育の推進、情報化社会への推進に寄与することを目的とする。
特定非営利活動分野	① 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 ② 社会教育の推進を図る活動 ⑫ 情報化社会の発展を図る活動

NPO法人 e-HCIK 構成メンバー



氏名		所属
理事長	原 量宏	香川大学瀬戸内圏研究センター 特任教授 徳島文理大学理工学部臨床工学科 教授
副理事長	石田 俊彦	香川大学 学長特別顧問 香川糖尿病支援まんでがん 理事長
理事	桐野 豊	徳島文理大学理 学長
理事	小西 久典	香川県医師会 理事
理事	志賀松 邦敏	株式会社S T N e t 常務取締役営業本部長
理事	藤井 篤人	日本メディカル株式会社 代表取締役
理事	尾形 優子	株式会社ミトラ 代表取締役
監査役	松尾 裕英	四国電力株式会社総合健康開発センター 所長
	横井 英人	香川大学医学部附属病院 医療情報部 教授
	飯原 なおみ	徳島文理大学香川薬学部 教授
	村尾 孝児	香川大学医学部 先端医療・臨床検査医学 教授

香川大学・香川県のこれまでの取り組み



H10

周産期電子カルテネットワーク モデル事業 県単独事業

H11

香川医科大学(当時)との遠隔画像診断共同研究 文部省(当時)

H12

香川県へiDCモデルでの医療連携システム提案(後のK-MIX)

H13

JGN(高精細動画伝送) 郵政省(当時)

H14

四国4県電子カルテネットワーク実証実験 通産省(当時)

H15

かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX) 県単独事業

H16

治験システム開発研究(自主開発) 日本製薬工業協会
日本CRO協会

H17

連携融合プロジェクト(K-MIX機能強化) 文部科学省

H18

マンモ遠隔モデル事業 厚生労働省

電子認証・電子署名(HPKI)を用いた大規模治験ネットワークシステムの開発 文部科学省

H19

国際化を踏まえた医薬品・医療機器の安全性情報の伝達に関する研究 厚生労働省

H20

診療情報の利用に関する研究 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

地域診療情報連携システムの標準化及び実証実験事業」
周産期電子カルテ・モバイル胎児心拍システムの統合 経済産業省

H21

JGN2、JGN2+ プロジェクト NICT、総務省

H22

地域ICT利用活動モデル構築事業 総務省

H23

「電子カルテ機能統合型TV会議システム」による
遠隔医療ネットワーク構築事業

戦略的大学連携(電子処方箋ネットワーク) 文部科学省

連携融合プロジェクト(糖尿病地域連携クリティカルパス) 文部科学省

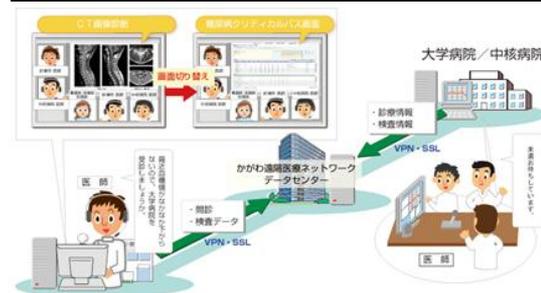
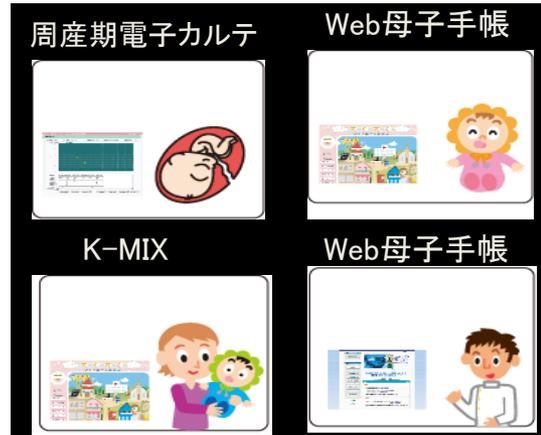
社会保障カード(仮称)の制度設計に向けた検討のための実証事業 厚生労働省

処方情報の電子化・医薬連携事業「香川医薬連携情報共有システム」 総務省

地域医療再生計画 厚生労働省

日本のセンチネル・プロジェクト 厚生労働省

遠隔医療総合特区 K-MIXを生かした安心の街づくり 内閣府



TV会議システム



瀬戸内圏・EHR

かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)を生かした安心の街づくり計画が「地域活性化総合特区」に選定されました。



計画の背景

- 全国初の全件的医療ネットワーク「かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)」を活用して、遠隔診断や地域連携クリティカルパスの運用を行うとともに、事業実施地域も県内だけでなく、岡山県や沖縄県などの県外医療機関にも拡大中。
- 香川大学を中心として、産業界や自治体が共同して生涯健康カルテ(EHR)ネットワーク事業の実証実験中
- 香川県下の三大学が連携して、大学病院と調剤薬局を結ぶ電子処方せんシステムを構築中。
- 妊産婦たらいまわし事案を教訓として、従来の災害・救急システムと周産期システムの統合や、基準に基づく救急患者の搬送・受入の実施と検証が求められている。

取り組み

特例措置・支援措置

遠隔医療

- ・電子カルテネットワーク構築事業
- ・地域連携クリティカルパス整備事業
- ・ドクターコム事業
- ・遠隔医療ネットワークサポート事業

健康

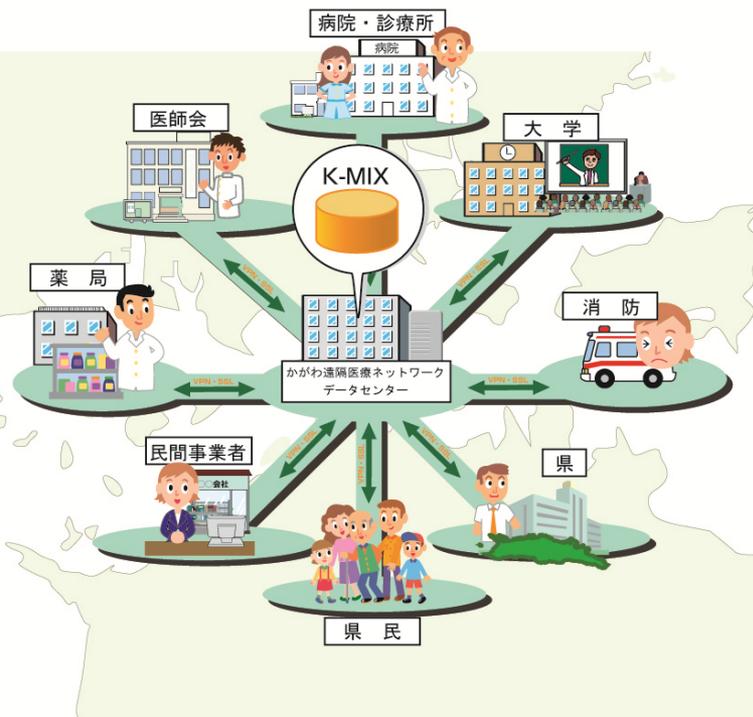
- ・EHRネットワーク構築事業

くすり

- ・電子処方せんシステム
- ・薬の副作用情報分析システム

救急医療

- ・広域災害、救急、周産期医療システム



規制の特例

- ・遠隔診療の対象疾患の拡大(医師法第20条)
- ・処方せんを電子情報として発行
(保険医療機関及び保健医療養担当規則第2条の5)
- ・遠隔で行う調剤医薬品の情報提供(薬事法第9条の2)
- ・心肺機能停止前の静脈路確保と輸液の実施
(救急救命士法第44条、同施行規則第条)21

財政支援

- ・電子カルテ接続のための改修費用
- ・地域連携クリティカルパス、電子処方せんシステムの利用に対する診療報酬、調剤報酬、介護報酬の加算
- ・電子処方せんシステム開発、教育
- ・ICカードの発行
- ・クラウドコンピューティング構築支援事業
- ・広域災害、救急、周産期医療システムの構築

金優支援

- ・無利子融資
クラウドコンピューティング構築支援事業
ハードウェアレンタル事業

県・大学・医師会・薬剤師会・民間事業者が共同してつくる、

遠隔医療ネットワークを生かした、安心して生活できる医療環境の構築



かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)

<http://www.m-ix.jp/>

香川県医師会 協力・香川県・香川大学医学部



かがわ遠隔医療ネットワーク(略称:K-MIX)とは

かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)は、香川県医師会にて運営している共通のセンターサーバを介して、県内の医療機関を高セキュリティなネットワークで結ぶ、全国初の全県的な医療情報の連携システムです。

このネットワークにより、例えば病院や診療所は、X線やCT(コンピュータ断層診断装置)などの患者情報を安全に伝送し、専門医の助言を受けながら診療できます。

また、患者さんは、最寄の診療所に日々の健康管理を任せ、何かあれば専門医がただちにサポート可能になります。

このような医療機関の連携が、全国どこの病院や診療所であっても、わずかな費用で簡単にできるようにになりました。

システムイメージ図



K-MIXの機能

1. 画像の読影診断の依頼を行う/支援を行う
2. 患者さんを紹介する/紹介を受付する
3. 画像撮影(検査)の依頼を行う/依頼を受付する
4. 返書を送る/画像を送信する

画面イメージ



K-MIXホームページ

NPO法人 e-HCIKの事業概要



1. 医療情報関連ネットワークシステムの構築支援事業

かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)をベースとして、電子カルテネットワーク、広域災害救急医療ネットワーク、医薬連携ネットワーク及び地域医療福祉連携ネットワークを結ぶことにより、医療機関等の連携体制と情報の共有化を推進し、生涯健康医療情報データベース(EHR)の基盤を構築する。

電子カルテネットワーク

医療機関・医師会・地方自治体

医薬連携ネットワーク

薬局・薬剤師会

広域災害救急医療ネットワーク

消防機関・地方自治体

かがわ遠隔医療ネットワーク
K-MIX

県民

地方自治体・介護事業者

民間事業者

生涯健康医療情報データベース(EHR)

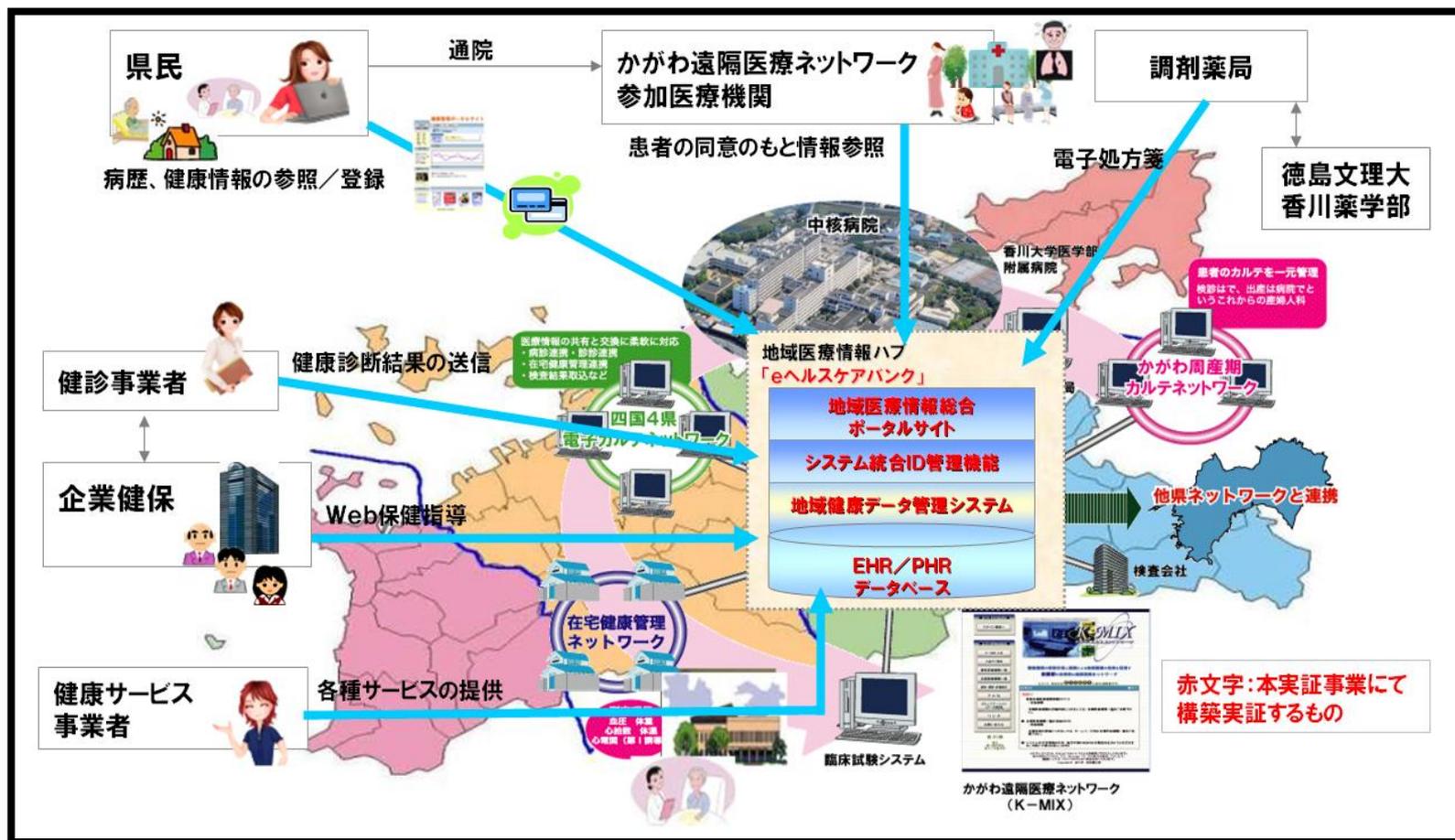
地域医療福祉連携ネットワーク

NPO法人 e-HCIKの事業概要



2. 生涯健康医療情報(EHR)データベースの構築事業

K-MIXを中心とする保健医療関連のネットワークが有効に構築されるよう、設計や運用をユーザの立場にたって行い、医療ITのシステム及びインフラを統合的に構築し、**本NPO法人の自立を確立する**とともに、県民に遠隔医療やEHR/PHRを提供するためのビジネスモデルを考案し、それに沿った運用規定の策定を行うことによって実運用へと導く。



NPO法人 e-HCIK 目指すもの



地域の為に充実した医療・ヘルスケア

県民の健康と長寿

医療格差の除去

地元企業の発展

日本および海外の
モデルとなる

遠隔医療サポート事業

- 遠隔医療ネットワーク
- 地域医療連携ネットワーク
- 地域連携クリティカルパス
- 医薬連携ネットワーク

医療ネットワーク構築運用事業

- Web生涯カルテ
- 社会保障カード
- Web母子手帳
- お薬手帳